

2022年10月31日
三井化学株式会社
株式会社プライムポリマー

プライムポリマー、DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンで資金調達を実施

～三井化学グループ全体の環境対応を評価～

三井化学株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 橋本 修、以下、「三井化学」という。）の主要グループ会社である株式会社プライムポリマー（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤本 健介、以下、「PRM」という。）は、この度、株式会社日本政策投資銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：地下 誠二、以下、「DBJ」という。）が提供する「DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローン（以下、本ローン）」を通じて、資金調達を実施致しました。

DBJ が提供する本ローンについて、借入人のみならず親会社の環境負荷低減への取り組みも評価して採用されたのは初めてであります。三井化学及び PRM は、広く社会の為に、三井化学グループの総力を挙げて、貢献します。

★DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンの特徴

本ローンは、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に基づき、貸付人である DBJ が対話を通じて借入人のサステナビリティ経営高度化に資する適切なキー・パフォーマンス・インディケ이터（以下、「KPI」という。）とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPT」という。）の設定をサポートするとともに、貸付期間中の定期的な対話により SPT の達成に向けた伴走を行う融資メニューです。

★今回設定された KPI と SPT について

本ローンは、三井化学グループの長期経営計画「VISION2030」における非財務指標「2030 年度までに GHG 排出量 40%削減（Scope1+2、2013 年度比）」を元に、その達成に向けた主要施策として主要グループ企業である PRM が実施するポリプロピレン（PP）製造設備のビルド&スクラップを通じた CO2 排出量削減について、以下の KPI・SPT を設定しました。

| | |
|-----|--|
| KPI | PRM の市原工場、大阪工場及び姉崎工場での PP 製造における CO2 排出量 |
| SPT | 上記 KPI を 2030 年度において 2013 年度比 23.8%削減とすること |

■本ローンの概要

| | |
|-----------------|---|
| 契約締結日 | 2022年10月31日 |
| 貸付人 | 株式会社日本政策投資銀行 |
| 調達金額 | 100億円 |
| 借入人 | 株式会社プライムポリマー |
| 対話報告書（公表版）へのリンク | https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2022/html/20221031_204052.html |

★DBJについて

DBJでは、[第5次中期経営計画](#)において、投融資を通じて持続可能な社会に貢献すべく「GRIT戦略」（注1）を推進することとしています。DBJは、今後も持続可能な社会・地域活性化への貢献に取り組んでまいります。

（注1）G：グリーン社会の実現、R：しなやかで強い安心安全な地域・社会や産業基盤の構築、I：事業化可能と評価できるイノベーションへの取り組み、T：現在の事業基盤を前提とした移行に向けた戦略的取り組み、を表すもので、DBJグループが第5次中期経営計画において重点的に取り組む分野を表したものです。

*ご参考

三井化学グループのサステナビリティについて

<https://www.mitsuichem.com/jp/sustainability/index.htm>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL：03-6253-2100

問合せフォーム：https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja

株式会社プライムポリマー 企画管理部 経営企画グループ TEL:03-6253-4537

問合せフォーム：<https://www.primepolymer.co.jp/form/jp/inquiry/form01.php>